

# GDP 600兆円 具体化急ぐ

## 政府訪日客目標「400万人」案も

政府は2020年ごろまでに国内総生産（GDP）を600兆円まで増やす目標に向け、首相官邸主導で政策の肉付けを急ぐ。訪日外国人観光客の受け入れでは、9日に発足した官民会議で安倍晋三首相が20年に2000万人としてきた目標の上積みを目指す。官邸で4000万人超をめざす案が浮上している。具体的な目標と政策を示し実行力を演出する狙いだ。

### 官邸主導で実行力演出

首相は9日、官邸で開いた「ものづくり日本大賞」の表彰式で「日本経済はデフレ脱却までもう

一息のところまで来た。次の目標は600兆円という最大規模の名目GDP達成だ」と強調した。実現には約110兆円

の増額が必要。経済財政諮問会議では、賃上げに伴う消費、環太平洋経済連携協定（TPP）の効

果、訪日外国人増などで積み上げる案を民間議員が示した。

訪日外国人受け入れを巡り、9日に首相が議長

の「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」

の「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」が司令塔だった。新体制をつくっ

たのは所管の国土交通省ではなく官邸が主導するためだ。具体策を練るワーキンググループを設置し、座長には菅長官が就き、石井啓一外交相は副座長に回った。

観光以外では、企業による賃上げと設備投資に向けて首相が官民対話で経済界に要請した。TPPによる輸出拡大もひとつだ。首相は9日、都内の会合で「21世紀型の新通商ルールの礎となり、アジア太平洋地域の経済発展に大きく寄与する」と述べた。政府高官は「農産物輸出額を20年までに1兆円に増やす目標も前倒しできる」と語る。

政府は25日にもTPP対策の政策大綱を示す。日本産の「和牛」を農産品輸出拡大の目玉と位置

### GDP600兆円へ上積みイメージ

※数字は経済財政諮問会議の民間議員案に基づく



「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」初会合であいさすする安倍首相 (9日、首相官邸)

づける。米国で和牛の人氣が高まり輸出が増えているからだ。発効されれば米国が輸入する際にかけている関税を15年程度で撤廃する。具体化を急ぐ背景には与党内の「目標が上滑りしている。来夏の参院選に効果薄だ」との懸念がある。